

新・さぬき野

かがやくけん、かがわけん。

香川県

2018 No.60

春

堂々、瀬戸大橋。

30th anniversary



「イチゴのテーマパーク造り、進行中」 イチゴ農家 観光農園経営

ふるさとの大阪府周辺でも土地を探したが出会いがなく、香川で独立の夢をかなえた。現在は、奥さまと大阪から呼び寄せた父親も本田さんをサポート。撮影には愛犬トワくんも参加。



観光農園にはヤギなどの動物がいて、イチゴのヘタをあけて触れ合える。



摘みたてイチゴの甘さと柔らかさに、声を上げて驚く人が多いと言う。



観光農園の来場者は年間1万8千人。3~5月が最も多く、休日には1日で700人が訪れることも。

香川に住んで

はじめたこと



お土産用イチゴに加え、加工品やお菓子も販売。

本田龍さんは、30歳までに農業で独立しようと、香川県の三木町に加え、北海道、信州、関東の農家で武者修行して20代を過ごした。間もなく30歳という時、お世話になった三木町の農家から「イチゴの観光農園をやらないか」と誘われる。「大きい夢が掛けそうだ」と話に乗り、地域の

農家3軒と地権者、本田さんが出資して、「森のいちご」を立ち上げて10年になる。

20台もの大型トラックで土を入れて段々畑だった土地をならし、自分たちの手でハウスを建て、香川のオリジナル品種「さぬきひめ」の苗を植えて、一部を観光農園にした。「さぬきひめは大粒で、甘みが強くて柔らかい。完熟した真っ赤なイチゴの摘みたてだと、それがより際立つのに驚いたんです」と、イチゴ愛たっぷり語る。



本田 龍さん

大阪府出身。2007年に香川県に移住。イチゴ農家。観光農園「森のいちご」、イチゴ農家を支援する「每人(いちごんちめ)」経営。「毎日天気を気にし過ぎるためか、気象病というになりました」と笑う。

最初は、師匠と仰ぐ農家に手ほどきを受けつつ無我夢中。「年間労働時間はサラリーマンの2倍だった」。2年目には炭疽病で苗が枯れ、自然相手の厳しさを知る。経験を重ねてからは、ハウスに暖房を入れずに時間をかけて、より甘く熟れさせるなど、毎年、生産法を更新している。「三木町では若いイチゴ農家の独立が続き、その大半が移住者。みんなで助け合えるよう、繁忙期に農作業を請け負い、機械や資材を共同購入する新会社も設立した。

イチゴの園場と観光農園を合わせて1.3畧。真っ赤ではなく、ほんのり色づく新品種の栽培も検討している。



香川県情報誌

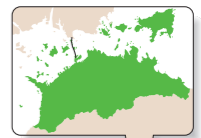
新・さぬき野

2018 春 No.60



香川県に関する問い合わせ

- 香川県広聴広報課 〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3019
- 香川県のホームページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/>
- 新・さぬき野のページ <http://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/sanukino/> (電子ブック・スマートフォン版有り)
- 香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100
- 香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661



かがやくけん、かがわけん。

香川県

海渡る 世界の傑作。

1988年4月、瀬戸内海を渡り、香川県坂出市と岡山県倉敷市を結ぶ瀬戸大橋が開通した。四国の人々にとって、本州と橋で結ばれることは悲願であり、まさに夢の架け橋であった。道路と鉄道の併用橋としては当時の世界最長。現在も世界最大級である壮大なつり橋は、大きな驚きとともに歓迎された。

その開通から今年で30年となる。夢の架け橋は、1日2万台以上の車両が利用する当たり前の交通手段となり、暮らしの一部となった。橋の下を船が行き交う景色に、瀬戸内らしさを感じる人も多いだろう。例えば、景観に配慮し、橋の色をライトグレーにするよう提言した東山魁夷^{かゐい}画伯は慧眼^{けいがん}であったのだ。

一方で、橋の維持管理には大変な苦労がある。巨大な重量を支えるつり橋のメインケーブルは、架け替えがほぼ不可能で、メンテナンスの重要度が高い。端から端まで塗装するのに要する期間は約20年。計画的な点検を続け、200年の利用を目指している。四国から本州へ、また本州から四国へ。はるか先の世代まで、この橋を渡って人と物が交流していく。

昨年末、うれしい知らせが届いた。ユネスコ世界遺産の諮問機関であるイコモスの国内委員会により、「日本の20世紀遺産20選」の一つとして瀬戸大橋が選ばれたのだ。これは、将来的に世界遺産に認定される可能性を示唆している。四国には新幹線開通に向けた動きもある。世界遺産の中を新幹線が走り抜けたら、どれほど素晴らしいだろうか。地元が誇る大橋に、新しい夢を見る30周年である。

海渡る世界の傑作。

夜に浮かび上がる光の橋。



まるで一つの作品のように。

しょうつうじやま 聖通寺山山頂展望台

日本夜景遺産に登録され、恋人の聖地としても認定されている展望台。週末などにライトアップされる瀬戸大橋の姿を、ほぼ正面から眺められる。

宇多津町まちづくり課
TEL0877-49-8009



瀬戸大橋と共にあるアート。 八人九脚

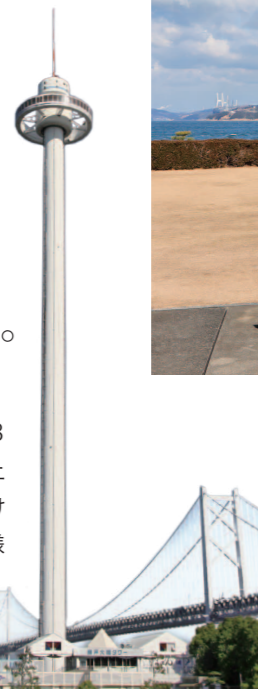
藤本修三氏による「八人九脚」は、瀬戸内国際芸術祭の作品。ここに座れば、岡山に向かって伸びる瀬戸大橋や行き交う船の様子を間近に眺められる。瀬戸大橋記念公園に設置。

瀬戸大橋記念公園 TEL0877-45-2344

地上108mからの眺め。 瀬戸大橋タワー

展望室がゆっくり回転しながら高さ108mまで上昇する瀬戸大橋タワー。頂上部で3回転するため、橋のある海側だけでなく、高速道路へと続く坂出側の様子まで見渡せる。

瀬戸大橋タワー
TEL0877-45-8791



どこから見るか 瀬戸大橋

静かな海に島々が浮かぶ瀬戸内海。その風景と一つになった瀬戸大橋は、見る場所や時間によって印象が変わる。昼に夜に、山に島に公園に、写真に残したくなる瀬戸大橋の姿を探した。

生活の中にある特別な風景。 ひついでしじま 櫃石島

瀬戸大橋が通る櫃石島は、路線バスによって渡ることができる。真下から眺める橋の姿や、間近で見る橋の中を走るマリンライナーなど、島ならではの距離感に心が躍る。

坂出市産業課にぎわい室 TEL0877-44-5015

香川県立東山魁夷せとうち美術館

海側が全面ガラス張りとなったカフェから眺める瀬戸大橋は、一つの作品であるかのように美しい。美術館を設計した建築家・谷口吉生氏の深い意図を感じられる。

香川県立東山魁夷せとうち美術館
TEL0877-44-1333

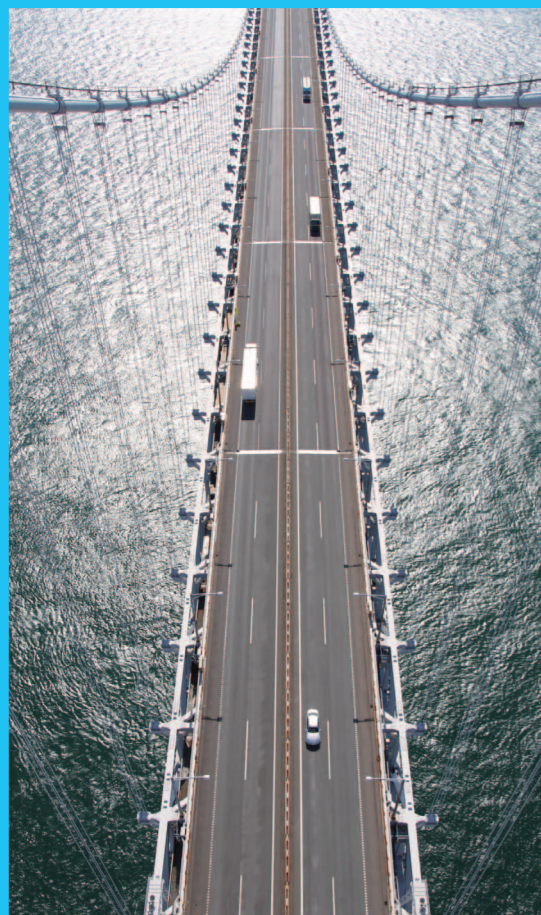


瀬戸大橋を見下ろす興奮。 瀬戸大橋スカイツアー

海面より175mの高さにある橋脚の塔頂部からの圧倒的な風景。この風景を楽しむスカイツアーは春と秋に参加者を募集しており、開通30周年の今年は拡大して実施。

本州四国連絡高速道路(株)岡山管理センター
瀬戸大橋スカイツアー係
TEL086-483-1100





瀬戸大橋 スカイツアー(春)

拡大
実施

普段は立ち入ることができない橋脚の塔頂や、管理用通路を見学できるツアー。海拔175mの塔頂部から見る眺めは迫力がある。従来より開催日を増やして、参加者を募集中。



開催日:5月18日(金)、19日(土)、20日(日)、25日(金)、26日(土)、27日(日)
場所:与島パーキングエリア
応募:4月11日(水)必着で応募後、抽選。詳しくは本州四国連絡高速道路(株)岡山管理センター瀬戸大橋スカイツアー係 TEL086-483-1100

フォトコンテスト

瀬戸大橋開通30周年を記念して、瀬戸大橋や香川県など、3つのテーマによるフォトコンテストが開催される。5月9日まで作品募集中で、入賞者にはオーリーブ牛ステーキセットなどが贈られる。応募は、専用ページからインターネットのみで受け付け。

瀬戸大橋
開通30周年記念
フォトコンテスト

テーマ:①「瀬戸大橋部門」②「香川県部門」③「あなたの身近な香川県部門」
応募締切:5月9日(水)10:00まで
応募先:https://lumixclub.panasonic.net/smart/contest/kagawa_1/

瀬戸大橋開通30周年こんな楽しみも。 30周年を盛り上げるいろいろな取り組みが行われる。



瀬戸大橋ライトアップ点灯日数の拡大

期間中、開通記念日を含むメモリアルウィークや記念事業に合わせ、瀬戸大橋がライトアップされる。

記念パネル展

瀬戸大橋開通からの30年を振り返り、瀬戸大橋の再認識を図る。

開催日:4月~10月
場所:各市町にて随時開催

ほかにもこんな取り組みがある。

マリンライナーへの「30周年記念ヘッドマーク設置」の式典、直島での「記念ウォーク」、香川・岡山両県で実施する「スタンプラリー」などが開催される予定。

海上自衛隊の艦艇一般公開

東日本大震災の災害派遣で活動した「せとゆき」が一般公開される。

日程:4月28日(土)・29日(日)
場所:坂出港林田岸壁



瀬戸大橋開通30周年記念 鉄道模型TOMIX「マリンライナー」発売

「マリンライナー」の鉄道模型TOMIXが、瀬戸大橋開通30周年記念事業香川県実行委員会の公認アイテムとして発売されている。夏ごろにはジオラマを瀬戸大橋記念館で展示予定。

瀬戸大橋開通30周年記念イベント

瀬戸大橋開通30周年を記念したイベントが、春から秋にかけて県内のさまざまな場所で開催されます。その中から春に開催される代表的なイベントを紹介します。



写真はイメージです。

瀬戸大橋開通30周年記念 花火大会

開通30周年を記念し、春の花火大会としては異例の1万5千発の花火を打ち上げる。それぞれにテーマを設けた5章の構成となっており、フィナーレを飾る第5章「未来への架け橋」では、音楽と花火が競演。尺玉一斉打ちの迫力ある演出で大会を締めくくる。

開催日時:4月7日(土)20:00~
場所:坂出港中央ふ頭
発数:15,000発(中四国最大級)



瀬戸大橋開通30周年記念式典

与島のパーキングエリアにて、香川・岡山の両県知事による共同宣言を行う。絵画コンクール表彰式や、香川・岡山の郷土芸能も披露される。

開催日:4月8日(日)
場所:与島パーキングエリア



キックオフイベントを開催

4月7日(土)・8日(日)の両日、瀬戸大橋記念公園を会場に、瀬戸大橋に関連するイベントが次々に開催され、30周年を祝う。会場には、キッチンカーや「せとうち海底水族館」などのブースも出展し、イベントを盛り上げる。8日にはSTU48も駆け付け、マリンドームでライブパフォーマンスを行う予定。

開催日:4月7日(土)・8日(日)
場所:瀬戸大橋記念公園、瀬戸大橋記念館

夏休みのイベントも計画中。

夏休み期間中には、瀬戸大橋記念公園にて、毎週土曜日、日曜日を中心に音楽イベントなどを開催予定。さらに、エリアを拡大した本四3ルートによる宝探しゲームも計画されている。



春祝魚と 押し抜きずし

香川県の春はサワラ漁でにぎわう。
農家には、その時期のサワラを親戚縁者に振る舞う
「春祝魚」という風習があり、欠かせないのが、
ハレの日の郷土料理、押し抜きずしだ。



昔ながらの押し抜きずしは、酢飯1合分もあり、食べ応え十分。酢で締めたサワラ、ソラマメ、卵、木の芽などを飾り、中にも甘辛く炊いたフキやニンジン、シイタケが入っている。

サワラで春を祝う

関東などでは冬がおいしいと言われるサワラだが、瀬戸内の旬は春から初夏。産卵のため、しっかり脂が乗ったサワラが外洋から瀬戸内海に入り、漁は最盛期を迎える。

香川県の農家は、その時期にサワラ1匹を丸ごと買い求め、親戚や近所に振る舞った。春を祝い、麦刈りや田植えを前に息抜きをし、栄養をつけて鋭気を養うという意味もある。身は刺し身や焼き魚、真子はフキとソラマメとの煮付け、白子は白みを仕立ての汁と豪華なサワラ料理が並び、押し抜きずしが主役を張った。

農繁期を前に、結婚して間もない嫁の里帰りが許され、婚家では丸ごと1匹のサワラを持ち帰らせた。嫁は実家で骨休めをし、戻るときには持たせてくれたサワラで作った押し抜きずしを手土産に。サワラと押し抜きずしが行き来して、婚家と実家の仲を取り持った。

また、普段は質素儉約な讃岐人が、年に1度思い切って買うサワラだけに、尾まで無駄にはしなかった。玄関の戸口にきざいで打ち付け、夜に火を付け脂を燃やして明かりにしたとも、魔よけ代わりだったとも伝わっている。

現役の味ごよみ

昭和50年代に全県を挙げて行われた郷土料理の調査では、サワラや押し抜きずしに関する春の風習が、瀬戸内海の島々も含めたほとんどの地域に少しずつ違う形で存在することが報告されている。「春祝魚」の他、「麦うらし」、「サワラ初穂」などの名でも呼ばれていた。

「今は、サワラを1匹買って春祝魚を行う家は少なくなりましたが、切り身のサワラを買って押し抜きずしを作る家庭はまだあります」というのは郷土料理研究家の十川時子さん。料理教室で若者や子どもに地域に伝わる料理を指導し、その習わしも伝承している。

最近では、スーパーや産直市場でも販売しており、誰でも気軽に食べられ、より身近になったとも言える。サワラの押し抜きずしで、香川の春をしみじみ感じたい。



多彩な抜き型。四角で作られる事が多く、扇、松や梅なども使われる。

春祝魚の押し抜きずしに欠かせない特産2品

緑鮮やかな「新豆」

春から初夏のごく短い期間、店先に並ぶ、目にも鮮やかな緑色のソラマメを、香川では「新豆」と呼ぶ。麦の間作として栽培されていたものが、特産野菜になった。

香ばしくいったソラマメをしょうゆに漬け込む郷土料理「しょうゆ豆」もあり、1年中ソラマメに親しんでいる。



サワラを愛し、守る

瀬戸内海のサワラは、カーテン状の網を仕掛け、網目に魚体を刺させる「流しさし網漁」で取る。胴回りに残る網の跡は瀬戸内産の証となっている。

1986年に1000トンを超えたサワラの漁獲量は、乱獲などで1998年にはわずか18トンまで減った。そのため、香川県の漁業者と関係者が協力し、卵から稚魚まで育てて放流したり、自主的に網の目を大き

くし、秋漁を休む（現在は一部再開）など資源に優しい漁を行っている。さらに、香川県からの働きかけで、瀬戸内沿岸の11府県が協力して海域ごとに細かく漁を規定し、現在では適切な漁獲量が保たれている。

サワラの春漁は海域により異なるが4月20日前後から。高松市中央卸売市場での初競りは、本格的な春の到来を告げる風物詩だ。



香川県知事
浜田 恵造

瀬戸大橋30周年 未来永劫の架け橋を目指す



※設置ケーソン工法：海中に鉄製の枠を沈め、枠の中にコンクリートを流し込み構造物を造る工法

けて取り組んでいます。そのためにも、建設当時は100年続く橋を目指すといわれておりましたが、100年といわず、200年変わらぬ強固な橋を願わずにはられません。

三原 今や生活になくはならない瀬戸大橋ですが、容易に架け替えができるものではありません。ですから、アセットマネジメントの考え方を導入した体系的な予防保全を基本とする維持管理が重要になります。海峽部の鋼鉄製の橋で、特に気をつけなければならぬのは錆と亀裂です。橋桁と主塔の

塗装面積は合計約180万平方メートル、甲子園球場140個分に相当し、錆予防のための塗装に約20年もかかります。そのため現在はより耐久性があるフッ素樹脂塗料を採用しています。さらにロボットを活用して安全かつ効率的に塗装状況を確認するための試験点検も行っています。また、大型車が繰り返し走行しますので、溶接

部分に亀裂が生じる可能性があります。その点検には赤外線サーモグラフィを用いた「温度ギャップ検出法」という技術を開発しました。こうした安全性と作業効率の高い点検により、200年以上、さらには未来永劫利用できる橋を目指しています。新幹線につきましては、今後、四国の新幹線構想の進捗にあわせ、当社としても必要な対応を進めてまいりたいと考えております。

知事 技術力に支えられた瀬戸大橋の素晴らしいさをさらに実感いたしました。今年には瀬戸大橋開通30周年の記念事業が開催されますが、国内外の多くの皆さまに瀬戸大橋と瀬戸内海の魅力、さらに香川県の良さも知っていただきたいと考えております。今後ともぜひお力添えをお願いいたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。

知事 1988年春に開通した「瀬戸大橋」は、今年で30周年を迎えます。日本で最初に国立公園に指定された瀬戸内海に架かる六つの橋の姿は、今も多くのの人々に感動を与えています。この世界に誇る巨大橋の高速道路の管理を担っておられる本州四国連絡高速道路株式会社代表取締役社長の三原修二さんにお話を伺います。昨年はイコモス(国際記念物遺跡会議)の国内委員会により、後世に残したい「日本の20世紀遺産20選」に瀬戸大橋が選ばれましたが、架橋の技術力が高く評価されたものと

伺っております。

三原 瀬戸大橋の完成により、本州と四国が初めて陸路で結ばれ、その結果、人と物の流れが劇的に変わり、社会に大きなインパクトを与えました。架橋技術の面でも画期的で、大水深、強潮流下での海中基礎の建設を可能にした「設置ケーソン工法」を開発しました。また、金属疲労を軽減するための疲労設計法や特殊な軌道伸縮装置などの開発により、世界最大級の道路鉄道併用のつり橋を実現しました。こうした技術が評価され、「日本の20世紀



本州四国連絡高速道路株式会社
代表取締役社長

三原 修二

1946年、大分県出身。東北大学卒業後、川崎重工業株式会社に入社、その後、副社長、顧問を経て2012年には本州四国連絡高速道路株式会社 代表取締役に就任。香川県と本州を結ぶ瀬戸大橋が今年4月で30周年となり、記念式典やイベントなどが各地で開催される。

遺産20選」の一つに選定されたことは、大変名誉なことと受け止めております。

知事 イコモスの選定により、交通の大動脈としてだけでなく、観光資源としての期待もさらに高まりました。また、昨年は念願の坂出北インターのフルインター化事業も実現に向けて動き出し、産業や観光振興にも大いに役立つと考えております。

三原 おかげさまで交通量は年々増加し、2016年度は開通時の2.2倍、一日あたりの平均の通行台数が2万2千台となりました。生活、物流、観光など、あらゆる面で瀬戸内地域の暮らしを支えています。

また、インバウンドも含め香川県を訪れる県外観光客数は、大変好調であると伺っております。当社でも環境省と国立公園オフィシャルパートナーシップを結び、またJR四国とも協定を結んで、瀬戸内地域の魅力を発信し、誘客、地域振興などに取り組んでいます。加えて当社が運営いたします与島パークエリアでは、瀬戸内海の景観を最大限楽しんでいたため、現在、エレベーターを設けるなどの展望台周辺の整備や、地元の特産品を使ったメニューや商品開発も進めているところでです。

坂出北インターチェンジのフル化については、四国における交流の玄関口としての機能が大きいに発揮され、ますます多くの方にご利用いただけるのではと期待を寄せています。

知事 瀬戸大橋は、新幹線規格で整備された道路鉄道併用橋であるにもかかわらず、いまだに有効活用されておりません。現代において、新幹線は標準的なインフラであると考えられますので、道路と合わせ災害などにも役立つ新幹線整備の実現に向

世界を リードする 大工業団地

世界に誇る瀬戸大橋、そのもとに広がるのは「番の州臨海工業団地」である。

戦後の高度成長期、瀬戸内海を行き交う船は増加と大型化の一途をたどり、備讃瀬戸航路の整備は急務であった。通称「番の州」などの浅瀬がある一帯に、航路整備で生じた浚渫土砂などを投入。瀬戸内海航路の要衝に位置し、地質、地耐力が優れ、自然災害が少ない理想的な大工業団地が誕生したのだ。次々と立地した企業は、革新的な技術により、世界に名高い製品を生み出している。今回は、その中の二つの企業を訪問した。



三菱ケミカルコークス事業の中核工場として、瀬戸内海沿岸の製鉄メーカーに製鉄用コークスを配給するにも理想的なこの場所にコークス炉を建設。



コークス炉の火を受け継ぎ誕生し、以降、製鉄用コークスの安定供給のため、その火は消えることなく燃え続けている。半世紀近い歴史の中でコルタル系ニードルコークスの製造技術を確立し、理化学技術分野の権威ある大河内記念生産賞も受賞した。

コークスは主に国内外の大手製鉄メーカーに供給され、産業基盤を支える製鉄の原料となる。また、石炭を乾留する際に発生するコークス炉ガス（COG）は、自家消費されるほか、隣接する四国電力社の火力発電用燃料となる。精製過程で生じるアンモニアなどは、それぞれ工業原料として利用されている。

また、坂出事業所の技術力は、現代の暮らしに欠かせない製品も多く生み出している。例えば、電気自動車などのバッテリーにも採用される高出力・高容量のリチウムイオン二次電池用負極材料、世界初の石炭ピッチ系高性能炭素繊維「ダイアリード®」、1600度の高温にも耐えるアルミナ繊維「マフテック®」などである。世界が目指す独自の製品を、坂出事業所から世界に向けて送り出しているのだ。

世界的な規模と 技術力を誇る 総合石炭化学工場

番の州臨海工業団地で最大の敷地面積を誇る「三菱ケミカル坂出事業所」は、東京デイズニードルのおよそ3倍の約168万平方メートルを有し、年間390万トンの高品質コークスの生産が可能な日本最大の「総合石炭化学工場」である。

1969年に北九州・黒崎事業所



極低温に耐えるアルミ合金を使用した直径40mを超える巨大なタンクは組み立ての後、大型クレーン2基により船上に搭載される。

世界最高の 技術を誇る 造船工場

1965年から造成が始まった番の州臨海工業団地に最も早く立地したのは、1967年に操業を開始した川崎重工工業坂出工場である。ここは、約91万平方メートルの敷地面積を有する日本有数の大型造船所。大型タンカー23万トンの連続建造、42万トンの超大型タンカーの建造などを行い、1981年にはアジア初のLNG運搬船を誕生させた。

工場は二つの建造ドック、進水後の艀装を行う四つの岸壁、完成時の最終仕上げに使用している一つの修繕ドックがあり、最高で6隻の船が同時に建造や艀装などを行うことが可能である。現在、主に手掛けているのは、LNG（液化天然ガス）、LPG（液化石油ガス）といった液化ガス運搬船だ。LNGおよびLPGは、燃焼時の二酸化炭素の発生量が少ないなど、地球環境に優しいクリーンなエネルギーとして、世界中で需要が高まっている。特にLNGは、天然ガスを冷却・液化してマイナス162度の液体にしたもので、極低温に耐える安全性の高いタンクが必要である。川崎重工工業のLNG運搬船のLNGタンクには、独自に開発した世界最小の自然気化率を達成した「川崎パネル方式」という防熱システムを採用するなど、世界に誇る安全性、信頼性を獲得している。

こうした類いまれなる造船技術により、2018年1月までに実に321隻もの大型船が坂出工場で見送り、世界の海に船出したという。

香川愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME SETOUCHI SHUN SAI KAN

東京・新橋アンテナショップ 特産品、郷土料理、観光交流コーナーで香川の旬をぜひどうぞ

3月1日(木)～5月31日(木) 「開店15周年記念フェア」を開催します

注目はこれ!



せとうち旬彩館は、2003年3月25日のオープンから、今年の3月で開店15周年を迎えます。首都圏で初めての香川と愛媛2県による

共同アンテナショップとして、新橋駅前に開店し、これまでに600万人を超える方々にご利用いただいています。

その日ごろの感謝を込めて、豪華賞品が当たる記念イベントなどの開催や、香川と愛媛が誇る旬の果実やその加工品、人気のお薦め商品など、幅広くご紹介いたしますので、ぜひご来店ください。

2F 郷土・せとうち料理 「かおりひめ」では、開店15周年を記念して、香川と愛媛のコラボメニュー「松山鮮とオリーブ豚の濃厚味噌しゃぶぶっかけうどん」が3月から5月末まで、3カ月間の期間限定で登場します。



東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1,2階 旬彩館 検索 http://www.setouchi-shunsaikan.com/ 観光交流コーナー TEL03-3574-2028

4月5日(木)～11日(水) 「四国と瀬戸内の物産展」

ここも要チェック!

西武百貨店高槻店で四国物産展が開催されます。ご当地自慢の海の幸や山の幸がイトインを中心に競演します。

6月6日(水)～12日(火) 「四国4県物産展」

今年も阪神百貨店梅田本店で物産展が開催されます。各県自慢のご当地グルメやスイーツなどが大集結。

四国のうまいもんを食べ比べに、ぜひお立ち寄りください。

【問い合わせ】香川県大阪事務所 TEL06-6281-1661 大阪市中央区東心斎橋1丁目18-24 クロスシティ心斎橋4階

3月16日(金)～27日(火) かがわ物産館「栗林庵」5周年感謝祭

開館5周年を記念して「感謝祭～さぬきのええもん・うまいもん～」を開催します。期間中は春らしい商品や楽しい企画をご用意して、皆さまのご来館をお待ちしております。

【問い合わせ】かがわ物産館「栗林庵」TEL087-812-3155 高松市栗林町1丁目20番16号 栗林庵 検索

〔東京で味わえる香川の恵み〕

香川の食材に東京で出合った。 まずは東京で。次はぜひ本場香川へ



小豆島直送「刺身盛り合わせ」(コース時)

目指すは小豆島の観光案内所「小豆島大儀」へ

瀬戸内海に浮かぶ小豆島にあるキンダイ製麺の直営店「小豆島大儀」。JR・メトロ高田馬場駅すぐのビル2階。小豆島の風景写真が飾られた店内で、主に小豆島産の食材を使用した料理をいただくことができます。

小豆島町出身の今村哲平統括マネージャーお薦めは、「小豆島直送の刺身」と「鶏そうめん」。「刺身」は社長自らが仕入れたオリーブハマチやヒラメなどを、こだわりの生醤油と再仕込み醤油の2種類でいただくことができます。なお、「小豆島直送の刺身」の入荷状況は、事前にご確認をお願いします。

「鶏そうめん」は手延べそうめんを1年間貯蔵したコシの強いそうめんを煮込んでいます。また、こだわりのスープは鶏がらを2日間かけて丁寧に仕込んでいるので鶏のうま味やコクがあります。トッピングに白髪ネギとショウガを入れると、あっさり食べられると女性に大人気の逸品です。

今村統括マネージャーは「小豆島の食材を知っていただき、小豆島、香川に行ってみたいと思ってもらえる観光案内所のようなお店を目指しています」と。ふるさとへの熱い思いを語ってくれました。

小豆島、香川を感じに、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



小豆島出身の今村統括マネージャー

【小豆島大儀 高田馬場店】 東京都新宿区高田馬場1-26-5F・1ビル2階 TEL03-3204-5531

紫アスパラガスの新品種 「さぬきのめざめバイオレッタ」誕生

春の訪れを感じさせる食材「アスパラガス」。香川県では、オリジナル品種「さぬきのめざめ」がありますが、新たに紫アスパラガスの品種「さぬきのめざめバイオレッタ」を育成しました。



スペイン語で「紫色」の「バイオレッタ」と「さぬきのめざめ」を組み合わせて名づけられた「さぬきのめざめバイオレッタ」は現在、県で栽培されている紫色品種「バーガンディ」と比較しても、早い時期に多く収穫でき、高温となる夏季でも鮮やかな紫色を維持します。

品種登録には農林水産省の審査を経て2～3年かかる見込みですが、「さぬきのめざめバイオレッタ」に乞うご期待!

【問い合わせ】香川県農業生産流通課 TEL087-832-3419

「jobナビかがわ」が さらに使いやすくなりました



香川県が運営する就職支援サイト「jobナビかがわ」がリニューアルしました。求人情報は「業種」「エリア」で一発検索。さらに、気になる就職セミナーや会社説明会などを登録すれば、Googleカレンダーと連動した「マイ就活スケジュール」が作れます。

また、サイトに登録すると「jobナビかがわ応援企業」の特典(ビジネススーツ購入時や就活用の写真撮影時の割引など)が活用できます。

新しくなった「jobナビかがわ」に登録して、「便利に」「お得に」香川県での就活を。

【問い合わせ】香川県就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ) TEL087-802-4700 jobナビかがわ 検索 https://www.jobnavikagawa.jp/

ますます便利に! 高松-東京(成田)線が 1日最大3往復に増便



就航から今年で5年目を迎え、香川と首都圏をつなぐ県民の足として定着してきたLCC(格安航空会社)のジェットスター・ジャパンが運航する成田線が、3月25日から1日最大3往復に増便されます。原則、火・水・木は1日2往復、土日を中心に週末や週初め、ゴールデンウィークやお盆などの繁忙期には1日3往復で運航します。

成田空港と都心の間は「早い」「安い」「便利」でアクセス抜群。成田空港一日暮里駅(JR山手線乗換駅)間を最短36分で結ぶ電車や成田空港-東京駅間が片道900円からの低価格高速バスなどもあり、主要駅や観光地とのネットワークが充実しています。

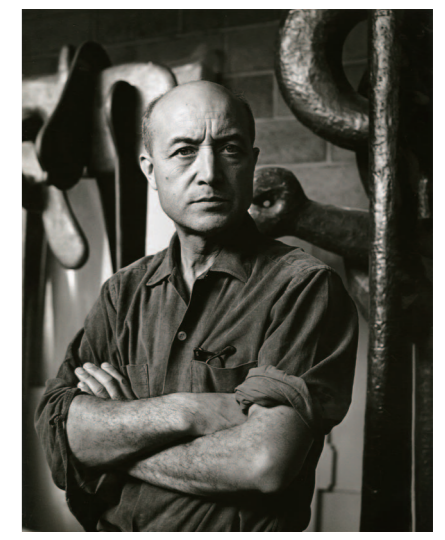
今回の成田線増便で、観光やビジネスのほか、ご家族の相互訪問などにおいて、ますます便利にご利用いただけます。

【問い合わせ】香川県交通政策課航空振興室 TEL087-832-3143

香川県立ミュージアム 春の特別展 「20世紀の総合芸術家イサム・ノグチー彫刻から身体・庭へー」開催

日本人の父親とアメリカ人の母親から生まれ、香川県にもゆかりのある20世紀を代表する芸術家、イサム・ノグチ(1904-88年)について、春の特別展で紹介。会期は4月7日(土)から6月3日(日)の51日間。

イサム・ノグチは抽象彫刻の分野にあっても常に「身体」に関心を持ち続けた。その関心が、子どものための遊具デザインなど人間を取り巻く環境へと向かい、自身がいう「空間の彫刻」=庭園への情熱へと変化していったことを約80点の作品を展示し紹介します。



イサム・ノグチのポートレイト ©The Isamu Noguchi Foundation and Garden Museum, New York / Artist Rights Society [ARS] - JASPAR. Photo by Jack Mitchell.

晩年は、香川県にアトリエを構え制作活動を行ったイサム・ノグチ。皆さまもイサム・ノグチの世界を体感してみませんか。

【問い合わせ】香川県立ミュージアム TEL087-822-0002 香川県立ミュージアム 検索 http://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/

期間限定 幻想的な夜桜鑑賞 栗林公園春のライトアップ



特別名勝「栗林公園」は、約320本の桜が見頃を迎える3月30日(金)から4月8日(日)までの10日間、毎年恒例イベントとなった「春のライトアップ」を行います。

桜の見どころが多い北庭を中心に、心躍る夜桜のトンネルや水面に映し出された桜など各所で光と影が織りなす幻想的な空間を演出します。ライトアップされた園内は、昼間とは違った魅力を楽しむことができます。また、期間中は夜店や和船の夜間運航を実施するほか、毎週土曜日にはイベントを開催します。期間中の土日には、公園近くに無料臨時駐車場をご用意して皆さまのご来園をお待ちしております。

【問い合わせ】栗林公園観光事務所 TEL087-833-7411 栗林公園 検索 https://www.my-kagawa.jp/ritsuringarden